

令和7年8月4日

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
会長 荒船 丈一 様施設名 わかばの丘
氏 名 前田悦郎

研 修 会 報 告 書

研修会名	生活リハビリ研修会			
日 時	2025年8月4日(月)10:00～16:00			
会 場	県民活動総合センター307セミナー室			
講 師	笠井明美			
参加人数・定員	参加人数	31 名	募集定員	40 名
研修リーダー 研修メンバー (施設名)	前田悦郎(わかばの丘)(リーダー) 大熊邦夫(鶴寿の里ナースィングホーム)(サブリーダー) 梅野政光(いぶき) 原田 誠(いぶき) 大越法之(ろうけん戸田) 高橋秀典(プライムケア川越)			
研修会のテーマ	『認知症高齢者への生活リハビリテーションの考え方』			
研修会の評価	アンケート回収枚数	30 枚	3. グループワーク	4.4 5
	1. 研修内容と目的の一致	4.3 5	4. 研修会の進め方	4.5 5
	2. 講義に対する評価	① 4 / 5	～総合評価点～	18 20
		② / 5		
		③ / 5		
		④ / 5		
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修リーダー・メンバーとしての感想等を記述)			
	今回の研修会は、講義とグループワーク(事例検討)の2部構成で実施した。参加者アンケートでは、概ね良い評価を頂いた。進行は予定通り講師への質問もあり、セッティングでは参加者の方々が協力的だった。			
	事前準備では、グループLINEでやり取りを行い、研修会の2週間前に1度Zoomミーティングを行った。PC操作に不慣れな研修メンバーが申込受付を担当したため、名簿作成や共有に難儀したという感想があった。今後は、役割分担の際には、必要な作業を理解して頂いた方が良いと考えられる。			
	また、オンライン申込フォームの活用を検討してはどうかという意見もあった。			
	配布資料について、追加依頼した資料がないというトラブルがあったが、研修委員が速やかに事務局と連絡を取り、場でのコピー対応ができた。配布資料についての事務局とのやり取りでは、到着確認などができる仕組みがあると良いと考えられる。グループワークのグループ分けにおいて、職種・経験年数の偏りを少なくすることを狙ったが、男女のバランスにも配慮ができれば良かった。			
	初めての事例検討の試みだったが、研修メンバーの役割・動きが十分に理解できていなかった。			
	講師との顔合わせも含め、メンバー全員が不安なく研修会に臨めるようになるまで、対面も含めた事前の打合せが必要だった。			

* アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。